



# テレマカシー

vol. **11**  
2007.1.20発行

テレマカシーとは? Terima kasih=インドネシア語で感謝を表す言葉。在宅で看取らせていただいたある方は海外旅行が大好きでした。その方が最期にご家族に残された素敵な言葉を使わせていただきました。

## 謹賀新年

格差や負担増が目立つ社会ですが  
すべての人に選択の自由がある  
世の中であってほしいと思います  
今年もどうぞよろしくお願いたします  
ひばりクリニック 高橋 昭彦



## 春の匂い

冬の朝

ひばり畑に霜柱が立ちます

「栃木産」の霜柱は  
高さ5、6cmもあるのです  
わずかな土を持ち上げては  
毎日融けていきます

あたたかくなると  
やがて霜柱は消えます

眠っていた土の精気が立ちのぼるとき  
なんともいえぬ春の匂いがするのです

冬来たれば春遠からじ…  
葉を落とした大ケヤキもまもなく、  
春の訪れとともに芽吹きはじめます。

## ひばり畑の記録 2006



だいこん・にんじん・ほうれんそう・キャベツ・ブロッコリー・カリフラワー・カリナズ・長なす・  
ゴーヤ・トマト・オクラ・ピーマン・かぼちゃ・えんどうまめ・そらまめ・じゃがいも(アンデス  
レッド・男爵・メイクイン)、その他、雑草に負けてしまったものがいくつか……ごめんなさい。

(畑をきれいにしてくださったり、苗や種、肥料を下さった皆様、この場をお借りしてお礼申し上げます。)  
ありがとうございました。<(\_)>

### 加茂なすは肉厚でおいしい

●京野菜の丸なすの一種。果肉がしっかりして煮崩れしません。新鮮な加茂なすを厚さ1cmくらいに切って、オリーブオイルを熱したフライパンで焼きます。味は塩味かしょうゆで。

●口中に、じわ〜となすの甘さが広がります。てんぷらもおいしいですよ。



### ゴーヤの種は真夏色

●ゴーヤの苗は、キュウリと比べて茎は細いし、葉も頼りなげです。一体いつになったら実ができるのかと思ったら、苗3本から5つほど実ができました。葉に隠れて収穫しなかった実は、熟すと黄色へ変化。実がはじけると中から赤い種が顔をだしました。

●“三線”も始めたので沖縄には愛着を感じます。



### キャベツをめぐる闘い

●苗は青虫たちに激しい攻撃を受け続けました。葉の裏には無数の卵が産み付けられ、向こう側がよく見える葉に「こんなに食べてくれなくても……」と苦笑い。

●冬になると青虫はいなくなりましたが、全く農薬を使わないで無傷なキャベツはできない、というのが私の実感です。





# 「人工呼吸器をつけたお子さんの預かりサービスをやります」

～T-プロジェクト 始動！～



## 私の決意

突然ですが、お伝えしたいことがあります。

私は、人工呼吸器をつけたお子さんの「預かりサービス」をやる決意をしました。

## きっかけは、お母さんのダウン

2006年9月のある日、5歳の尊(たける)君の家を訪問すると、玄関に出たのはお父さんでした。お母さんは風邪をこじらせてダウン。お父さんが仕事を休んで尊君の世話をしておられたのです。

人工呼吸器がついている尊君は、たんがつかると呼吸ができません。そのため、いつでもたんを取れる用意(吸引)が必要です。人工呼吸器のアラームにも対応しなければなりません。人工呼吸器をつけた子どものケアには熟練が必要なのです。そのため、お母さんの代わりにできる人はごく限られてしまいます。

## 必要だが足りないもの

人工呼吸器をつけて自宅で暮らす子どもにもっとも足りないもの。それは「預かりサービス」です。保育園や幼稚園はどこも拒否。障がいのある子どもなら利用できる通所や短期入所のサービスも、人工呼吸器をつけた子どもは、利用を断られることがほとんどです。理由はたくさんあります。

人工呼吸器をつけた状態は福祉サービスでは想定されていないこと、あまりに少数派であるため経験のある人がほとんどいないこと、コストが合わないこと、などなど。相談しても相談しても、**断る理由はいくらでも見かけます**。ご両親には、ほっとできる時間がないのです。

## お母さんの責任ではない

数日後、私は長崎で開かれた在宅ケアの集まりに参加しました。障害者自立支援法についての討論会では、重い障がいのある子どものお母さんから「**自分の責任として授産施設をつくっているが、法律が変わり、これからのことを思うと大変・・・**」と発言がありました。

2006年4月からはじまった障害者自立支援法では自己負担が増え、毎月払われるわずかな工賃よりはるかに多い利用料を払うことになってしまいました。ひどい話です。それに対し、九州のある医師が「それはちがう。障がい児が生まれるのは確率の問題。お母さんが自分の責任という必要はない」ときっぱり言われたのです。私もそうだと思いました。

## 仕事を広げたくない・・・しかし

長崎には、全国から在宅医療を行う仲間が来ていました。ある人は、やりたいことをやるために事業を拡張し、苦勞しながらも自分の組織で完結するやり方をとっていました。医師を複数雇っているところも、訪問看護から介護長屋まで持っているところもあります。

一方、私といえば、とにかく組織は小さく、あとは外部との連携で仕事をしてきました。今の形で、自分のやりたことの大半はできています。このままクリニックを閉めるまで、同じ形でやっていくほうが経営的にも安全です。私はこれ以上仕事を広げたくなかったのです。

しかし、この預かりサービスだけは、いろいろな人が訴えてきましたが、宇都宮では安心して任せられる所がありません。必要なことなのに、どこもやらないのです。私は今まで「民間がやらないことを行政がやらないでどこがやるのか」という言い方をしてきました。しかし行政の組織は職員の異動も多く、責任の所在も不明確です。「資格より資質」が要求される熟練したケアの継続は、組織の内部に強い意志がなければ難しいようです。



《T-プロジェクト・メンバーの皆さん》

訪問看護師	相談員
障害者アドバイザー	社会福祉士
行政職	医師
養護学校教諭	お世話になります!

「やらない理由を考えない」

そこで9月25日に決意しました。「誰もやらないのであれば、自分がやるしかない」と。ひばりクリニックは病床もないし、医療法人でもありません。おそらく、個人開業の無床診療所で人工呼吸器をつけた子どもの預かりサービスをやっているところはないでしょう。

やるからには、安心して預けていただける質の高いサービスを行う必要があります。決意しましたので、やらない理由を考える必要はありません。実現するためにどうすればいいのか、やる理由だけを考えればよいのです。

安心して預けていただくためには、

- Hand (手=技術)
- Head (頭=知識)
- Heart (あたたかな心)

の三拍子そろった常勤看護師を雇用し、手順マニュアルをつくったり、人材の育成や部屋の改修を行うなど、さまざまな準備が必要です。

T-プロジェクト

尊君がきっかけだったので、準備のためのプロジェクトを「T-プロジェクト」と名づけました。県内で人工呼吸器をつけた子どもに理解のある方々に集まっていただきます。1年ほどかけていろいろな角度から知恵を出し合って検討します。最小限の準備をしてから日中預かりを試行し、ご両親の意見もいただきながらサービスとして成り立つように準備をしてゆきます。今の建物を活用し、できるところからはじめてみたいのです。

今年の目標は「創る」です。必要なサービスを創る第一歩は、T-プロジェクトから始めます。ご意見やご助言などいただければ幸いです。

第11回 在宅ケア・ネットワーク栃木 開催のお知らせ

日時 平成19年2月11日@ 10:00~15:00  
 会場 自治医科大学・地域医療情報研修センター大講堂  
 テーマ 「コミュニティーケアを担う人材の育成」

＜呼びかけの言葉より＞

在宅ケアは、各職種の先駆者が孤軍奮闘していた時代からチームケアへ、そしてコミュニティーケアへと展開してきました。ここ、栃木県でもそれぞれの地域で、患者・利用者を中心においた取り組みが展開され、経験が蓄積されてきました。

ところが、コミュニティーケアにかかわる各職種や市民の育成は、いろいろなところで別々に行われています。将来のコミュニティーケアを担う人材を育成するためには、もっと早く、いろいろな人びとと協働していけるようなしかけを作る必要があるのではないかと思います。さまざまな立場のみなさまのご参加をお待ちしております。

(大会責任者：自治医科大学地域医療学センター地域医療支援部門 三瀬順一)

●プログラム

- 10:00 開会
- 10:15 講演「専門職間の連携教育の実践」  
 埼玉県立大学保健医療福祉学部 教授 大塚真理子さん
- 11:15 アピールの時間(30分) 壇上で広報、宣伝、紹介、研究発表など
- 12:30 基調講演(30分)「コミュニティーケアを担う人材の育成」  
 自治医科大学地域医療学 三瀬順一世話人
- 13:00 シンポジウム  
 「みんなで支える在宅ケア  
 ～地域のニーズに応えられなければプロとは言えない～」  
 (司会) 高橋昭彦 世話人  
 (コメンテーター) 三瀬順一 世話人  
 (シンポジスト)  
 1. 市民とボランティアの立場から  
 矢野正広さん(とちぎボランティアネットワーク、宇都宮市)  
 2. プロの社会福祉士の立場から  
 永島 徹さん(NPO法人風の詩、社会福祉士、佐野市)  
 3. ケア提供者の立場から  
 岡田真美子さん(グループホーム和 管理者、那須塩原市)  
 4. 若手医師の立場から  
 荒井康之さん(城里町七会診療所 医師、茨城県城里町)
- 15:00 閉会 (閉会后、会場建物内で自由集会ができます17時まで)

●参加費

一般▶事前1800円/当日2000円 学生▶事前800円/当日1000円  
 \*弁当1000円(お茶付)

●事前申し込み

締め切り▶2007(平成19)年1月31日  
 \*郵便振替をご使用下さい。通信欄に申込者住所、参加者全員の氏名、弁当の数を書き、合計額をお送りください。当日名札を用意しておきます。  
 (郵便振替)記号番号：00180-1-418778  
 加入者名：在宅ケアネットワーク栃木

●ポスター発表・自由集会受到

締め切り▶2007(平成19)年1月31日  
 ポスター：ホールで呼びかけや研究発表(非営利限定)ができます。  
 自由集会：閉会后、小規模の集会が可能です。ご相談ください。  
 \*ポスター掲示・アナウンス(11時15分～)もできます。

●連絡先

(学校法人)産業教育事業団内在宅ケアネットワーク栃木事務局  
 〒328-0012 栃木市平柳町2-1-38  
 電話・FAX：0282-29-1050  
 E-mail：carenet@cc9.ne.jp  
 ホームページ：http://www.cc9.ne.jp/~carenet/

わっどわ〜

「超音波診断装置」が入りました!

● 第二の聴診器としての活躍にご期待下さい



お腹を診るときに使う超音波診断装置が2006年末にひばりクリニックに登場しました。

ポータブルで在宅にも持参できます。開業以来あったらいいなと思っていましたが、ようやく購入することができました。

きっかけは、在宅がん末期の方の腹水を抜くために機械を借りたことです。脂肪肝、胆石、子どもの腎尿路の病気など、「第二の聴診器」として活用していきたいと思います。



テレマカシー10号に寄せられた感想から

＜人工呼吸器をつけた子どもについて＞

毎回、とても楽しく読ませていただいております。今回のバクバクの会のお話を読んで、人工呼吸器をつけたお子さんを小児科の時に担当したことを思い出していました。30分のお散歩に出かけるのも一大イベントで大変でしたが、患者さんがいつもよりもいきいきしているように感じたのを覚えています。こういった患者さんのご家族のためにもヘルパーさんやボランティアの方の協力は欠かせないものですね。

(自治医大5年生 Mさん)

映画 「蟻の兵隊」上映会のお知らせ

● 終戦当時、中国山西省にいた日本軍が、大戦後も中国に残留し、中国の内戦を戦いました。世界の戦争史上不意を見ないこの「売軍行為」を、日本政府は兵士たちが勝手にやったとみなし黙殺します。「自分たちは国に捨てられた」「上官の命令に従って、蟻のようにただ黙々と戦った」戦争の被害者であり加害者でもある元兵士が真実を解明しようとする姿を追ったドキュメンタリー映画です。

● 関心のある皆さん、ぜひご覧ください。この映画会は、西山智彦さんが自主上映会として主催されます。ひばりクリニックにもチケットはあります。

【日 時】 2007年2月18日(日) ①10:30～ ②14:30～

【場 所】 とちぎ福祉プラザ(宇都宮市若草1丁目)

【料 金】 前売り 1,000円(中学生以下無料)

【問い合わせ】 ☎070-5013-4932 One's Cinema 西山さんまで

● 心療内科は「完全予約制」です

心療内科をご希望の方は、**必ずご予約の上でいらしてください。** 傾聴を行う心療内科は1人あたりの時間がかかり、一般外来ではお受けできないのです。一般外来と在宅医療の合間に予約を入れますが、心療内科のために確保できる枠は月に数人程度です。このため、予約がすぐに入らないときがありますが、何卒ご容赦ください。

♥ ユニセフ募金・AMDA募金ありがとうございました。ご支援いただいた募金は皆様のお気持ちとともにAMDA(アジア医師連絡協議会 <http://www.amda.or.jp/>)へ23,017円、ユニセフへ23,017円、**総額46,034円**をお渡しいたしました。ご協力ありがとうございました。

♥ 切手をお送りいただきました皆さん、ありがとうございました。

「ひばりクリニック」のご案内

● 診療時間 ●

時間	日	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	(休)	○	○	(休)	○	訪問診療	○
午後 (在宅医療)	(休診)	訪問	訪問	(休診)	訪問	訪問診療	訪問

● ひばりクリニックの運営理念 ●

- 1) 在宅で過ごされるご利用者に出前の医療を提供すること
- 2) 子どもからお年寄りまで診る家庭医の機能を提供すること
- 3) 障害児・者やお年寄りの生活を支える市民活動を支援すること

栃木県宇都宮市の北西部、新里町(にっさとまち)にある、ログハウス風の小さな診療所です。



〒321-2118 栃木県宇都宮市新里町丙357-14  
TEL 028-665-8890 FAX 028-665-8899  
E-mail [hibari-clinic-01@theia.ocn.ne.jp](mailto:hibari-clinic-01@theia.ocn.ne.jp)

この通信は、子どもから大人まで、障害のある人もない人もどんな人も社会から排除されることなく、地域で一緒に生きていける世の中を目指して、ひばりクリニックが企画・編集しております。この通信についてのご意見・ご感想はひばりクリニックまでお寄せください。